

第12回 楽暮プロジェクト・セミナー

障がいのある方とかかわる中で、コミュニケーションについて悩まれたことはないでしょうか？通じ合えないことほど、大変なこと、つらいことはありません。楽暮プロジェクトは、コミュニケーション支援に関する情報交換の場として、月例会やセミナー等を開催しています。

今回のセミナーでは、長野大学 杉浦先生をお招きして、先生が工夫して製作された教材・支援機器を基に、コミュニケーションを豊かにするためのヒントについてお話しいただきます。そのほか、パネルディスカッション、支援に関する様々な機器や玩具の展示の他、書籍の販売も予定しています。コミュニケーション支援に関する様々なヒントが得られるセミナーです。ぜひご参加ください。

9:30-	受付, 機器展示
10:00-10:10	オープニングトーク
10:10-12:10	講演 I 杉浦 徹 氏 (長野大学 社会福祉学部 助教)
	サバイバルスキルとしての支援機器 ～子ども達と世界をつなぐために～
	参加とコミュニケーションがキーワードの特別支援教育において、支援機器の持つ意味はさらに大きくなっています。どのような取り組みで、豊かなコミュニケーションを生み出せるかいっしょに考えましょう。
12:10-13:10	昼食, 機器展示, 書籍販売 パシフィックサプライ, SugiuraDenki (予定), ま～ぶる (予定) スペース96 (予定), 楽暮プロジェクト
13:10-13:40	質問回答 (あらかじめ質問用紙を配布し, 昼休み中に提出して頂きます。)
13:45-15:45	パネルディスカッション・情報交換 コミュニケーション支援に関する地域資源 (パネリスト調整中)
15:45-15:55	クロージングトーク
16:00-16:20	フリータイム (情報交換の場としてご利用ください。) 機器展示, 書籍販売

第12回 楽暮プロジェクト・セミナー (H27. 9. 6)

【講師紹介】

杉浦 徹 氏 (長野大学 社会福祉学部 助教, 信州流半田ごて道師範 (家元))

昭和44年、杉浦電業所三代目として京都に生まれる。

平成8年より17年間、長野県公立学校教員

平成16年SugiuraDenki起業, 平成23年信州スイッチラボ設立発起人

平成25年長野大学社会福祉学部助教

(主な著作)

- ・振動するおもちゃの開発ー子ども達にとっての応答的な環境作りを目指してー肢体不自由教育181 (2007)
- ・「知的障害への合理的配慮ー暮らし・学びを支えるツール活用のススメ」金森克浩編集代表「特別支援教育とAT 第4集 特集 合理的配慮を支えるための支援技術」. 22-25. (2014)

日 時	平成27年 9月6日(日) 10:00~16:00 (開場9:30)
会 場	仙台市福祉プラザ 1階プラザホール http://www.shakyo-sendai.or.jp/fukushi/
参加費	一般 1500円 , 学生 500円 (当日受付でお支払いください。)
申込方法	お名前・所属・連絡先(メールアドレスやFAX番号)等を, メールまたはFAXでお知らせください。 申込期限: 8月30日(日) (当日参加も可能ですが, 名札や資料の作成の都合があるので, できるだけ事前申し込みをお願いします。) メール: rabo_event@yahoo.co.jp FAX: 0228-25-4461
問合せ方法	上記メールアドレスかFAX番号まで, 問い合わせ内容と連絡先をお知らせください。折り返し, 事務局から連絡させていただきます。
主 催	楽暮プロジェクト (宮城にAACとATを広める会) http://www.geocities.jp/rabopj/

会場案内

仙台市福祉プラザ (1階プラザホール)

仙台市青葉区五橋2-12-2

TEL. 022(213)6237

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/n/aboutus/plaza>

アクセス

地下鉄: 五橋駅下車(南1番出口より徒歩3分)

市営バス: 福祉プラザ前 下車(徒歩3分)

福祉プラザの駐車場は利用できません。

公共交通機関, 周辺の民間駐車場をご利用ください。

